

ダイハツディーゼルが納入したMTU機関搭載 新型護衛艦「もがみ」命名・進水式

3月3日、新型護衛艦(FFM)1番艦の命名・進水式が三菱重工株式会社長崎造船所において挙行政され、「もがみ」と名付けられました。

「もがみ」は「最上川」に由来し、海上自衛隊様で用いるのは、いすゞ型護衛艦の2番艦「もがみ」(1991年除籍)に続いて2回目です。

FFMは従来の護衛艦と比べてステルス機能を高め、船体をコンパクト化し、少ない隊員で運用できる設計となっております。また、これまで掃海艇が担っていた対機雷戦に関しても能力が付与されているのが特徴です。本FFMを含め同シリーズ艦には当社が納入したMTU機関(発電機装置用に計3台)が搭載されます。当社は既に三菱重工業株式会社様から6隻分の御注文をいただいております。

FFMは2019年～2023年度の「中期防衛力整備計画」に基づき、2023年度までに10隻が建造される計画となっております。「もがみ」は2022年就役予定。



新型護衛艦「もがみ」(写真は三菱重工業株式会社様提供)

以上

【お問い合わせ先】

艦艇事業部 齋藤
TEL:03-3279-0810

管理統括本部総務室 中尾
TEL:06-6454-2331